

## 「第2回ごみゼロ推進九州ブロック大会in佐世保」の開催について

環境省九州地方環境事務所廃棄物・リサイクル対策課 課長補佐 林 誠

環境省では、長崎県、佐世保市等と、廃棄物の発生抑制（リデュース）、再使用（リユース）、再生利用（リサイクル）という“3R”の取組を通じて循環型社会の構築を推進するための一環として、平成17年10月21日（金）から23日（日）にかけて、長崎県佐世保市のハウステンボス及びワインズ佐世保で、「第4回ごみゼロ推進全国大会」を開催しました。この全国大会は平成4年度から「ごみ減量化推進全国大会」として毎年開催しており、平成14年度からは、それまでのごみ減量化から一歩進んだ大会として現在の名称で開催されているものです。今回の全国大会では、女優の浜美枝さんの記念講演やごみゼロ・リサイクル促進ポスターコンクールの表彰式などを内容とする式典のほか、先進事例発表、講演会、テレビ番組「出張！なんでも鑑定団in佐世保」の公開収録などが行われ、多くの人にご来場いただきました。

環境省では、平成17年10月1日に、これまで全国11か所にあった自然保護事務所と、9か所にあった地区環境対策調査官事務所という2つの組織が再編・統合され、新たに、全国9か所に環境省の地方支分部局として地方環境事務所が誕生しました。この地方環境事務所において、地域の実情に応じた機動的かつきめ細かな施策を展開し、地域における環境行政の窓口として幅広い業務に取り組んでいくことになりました。

この地方環境事務所においても、地域における循環型社会の構築を推進するため、ごみゼロ推進地方大会を地区環境対策調査官事務所時代の平成16年度から開催しています。九州地方環境事務所では、平成16年度に福岡市で開催したのに引き続いて、平成17年度は全国大会の開催に合わせ、平成17年10月22日（土）と23日（日）の2日間の日程で、

「第2回ごみゼロ推進九州ブロック大会in佐世保」を開催しましたので、その概要を報告します。

「かえっこバザール」は、お金の代わりにこどもの通貨”かえるポイント”を使った不要になったおもちゃなどの物々交換会で、子供たちが持参したおもちゃなどをかえるポイントに交換してもらい、このポイントを使って自分が欲しいと思う他のおもちゃなどと交換したり、オークションに出品される素敵なおもちゃなどをせり落としてもらいました。おもちゃなどを持参しなかった子供たちも、かえっこバザールのスタッフとしてお手伝いをしたり、3R学習会などに参加することでかえるポイントを獲得することができるため、どの子供たちも熱心に参加していました。



「かえっこバザール」オークション

「リサイクル工作教室」では、不要になった材料を使用して、オランダ型風車、まんげきょう、キャンドルを作り、準備していた材料がなくなるほど盛況ぶりでした。また、工作教室の片隅では、いろいろなタイプの風車の模型を展示して、自然エネルギーの大切さについても参加者に説明し、学んでいただきました。



リサイクル工作教室

「ごみゼロ推進活動紹介」のブースでは、実際に日用品を並べて、台所用品を購入する時は耐久性や素材を考えて選ぶこと、シャンプーなどは詰め替え品を選ぶことなど、ごみの発生量を最小限にするための選び方を学んでもらいました。



「ごみゼロ推進活動紹介」ブース

「ふろしき体験」のブースでは、昔からあるふろしきの使い方、包み方の見本約20点を展示した他、実際にワインなどの包み方を体験してもらいました。



「ふろしき体験」ブース

「段ボール式コンポスト」のブースでは、段ボールを利用して生ごみからコンポスト（堆肥）を作る方法を紹介したり、ペットボトルから作った鉢にコンポストを入れ草花等を展示しました。



「段ボール式コンポスト」ブース

「ごみゼロクイズ」では、クイズで3Rへの理解を深めていただくとともに、クイズの回答者の中から抽選で、環境省が行った「マイバッグプリントデザインコンテスト」の最優秀作品のマイバッグ190枚を配布して、マイバッグの利用を呼びかけました。 「ごみゼロ推進九州ブロック大会in佐世保」には、2日間で約4,300名の方々にご参加いただきました。3Rの取組を肌で感じてもらうことで、少しでも多くの方に3Rの取組を実践し、また考えていただくきっかけになったのであれば幸いです。

環境省が平成16年度に行った調査では、国民の日々のごみ問題に関する意識は非常に高いものの、意識の高さが実際の行動に必ずしも結びついていないという結果が表れています。マイバッグをもって買い物に行く、壊れたものでもできるだけ修理して使う、再生品を選択して買う。循環型社会の形成の推進に限らず、地球温暖化対策など他の環境問題にも言えることですが、市民の意識に訴える、心がけを求めるという部分の対策を普及させることは、我々行政として最も難しい分野の一つであります。しかしながら、知恵を出し工夫をしながら次回以降の九州ブロック大会においても、一人でも多くの方々に環境問題について意識し、関心を高めていただけるよう、努力してまいりたいと考えております。

ハウステンボスでは、ごみゼロ推進全国大会・九州ブロック大会の他に、長崎県等の主催により「環境フェスタinハウステンボス」が同時に開催されました。これらのイベントにより、ハウステンボス全体で延べ約2万4千人が訪れ、盛況のうちに終えることができたのではないかと思います。ごみゼロ推進九州ブロック大会についても、長崎県、佐世保市をはじめ、多くの関係機関や関係者のご協力をいたしましたことを心から感謝いたします。



会場全体の様子

※ 本大会の詳細な開催結果は、九州地方環境事務所のホームページ（<http://kyushu.env.go.jp/>）に報告書として掲載しています。

### 大 会 の 概 要

(1) 開催日程	平成17年10月22日（土）～23日（日）
(2) 会 場	ハウステンボス内 ユトレヒトプラザ
(3) 主 催	九州地方環境事務所
(4) 共 催	長崎県、佐世保市
(5) 後 援	九州農政局、九州経済産業局、九州地方整備局、九州運輸局、第七管区海上保安本部、第十管区海上保安本部、第十一管区海上保安本部、内閣府沖縄総合事務局、福岡県、佐賀県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県、九州市長会、九州地区町村会長会、ごみゼロパートナーシップ会議
(6) 運営協力	藤浩志企画制作室、佐世保市立宮小学校児童、佐世保市立宮中学校生徒、佐世保工業高等専門学校及び学生、長崎大学環境科学部学生、自然エネルギー研究会、久留米530（ごみゼロ）の会、ふろしき研究会、福岡県地球温暖化防止活動推進員、NPO法人循環生活研究所
(7) 参 加 者	一般市民、事業者、国、地方公共団体の職員等
(8) 大会内容	①かえっこバザール ②リサイクル工作教室 (オランダ型風車づくり、キャンドルづくり、まんげきょうづくり) ③ごみゼロ推進活動紹介 ④ふろしき体験 ⑤段ボール式コンポスト ⑥ごみゼロクイズ